

# 大阪一の宝物新聞

制作者・製作日  
2026/2/12  
大阪大学留学生  
タイのバイプル  
ロシアのアヤ  
インドネシアの  
ナジュワ

## 寺内町で一日の旅



寺内町は千五百二十一年に興正寺十六世証秀上人によって作られた。興正寺別院は町の中心になった。五百年前にでき、今でも入ることができ。寺内に鐘と太鼓があり、美しい瓦もある。

町の特徴といったら、古い家だ。今でも煙出しや忍び返しを見ることが出来る。更に、寺内町に鬼の瓦がたくさんある。町人によると、町に古さは家だけではなく、町人も持っている。毎日話しかける町に住んでいるおばあさんたちは懐かしさを感じさせる。

## ビアホールを楽しむ

富田林寺内町にある万里春ビアホールを知っている？昔の酒蔵をリノベーションして、レストランとビール工場として復活！

広いビアホールでホットドッグやピザ、パスタなどの洋食、タコライスやうどんなどの日本風ご飯が味わえる。

江戸時代から、富田林の酒蔵は金剛山の水源を仕込み水として使用して、その水のことを「黄金の水」と呼ぶそうだ。工場の隣で、ビールとご飯いかが？



## 寺内町で布団を売っている中林さんの声

寺内町で伝統的な布団寝装店がある。中に入ると優しい店主が暖かい挨拶をした。中林さんによると、寺内町で約四十年くらい住んでいる。寺内町は小さくて、静かな町だけれども、現在はイベントなどを開催するので、だんだん観光客が来ている。

寺内町のお店の特徴は開店する時、のれんをかけている。その特徴で、寺内町に歩いている時、面白い店が見つけれらる。それに、「お客さんを買っていたただけではなく、お客さんとたくさん話すことはうれしい」と言われた。



日本風の町が好き  
な人におすすめ  
だ。寺内町に来た  
ら、素晴らしい経  
験ができると思  
う！

